



東北防衛局広報紙  
(東北6県の防衛に関する情報紙)

# 東北の **かなめ**

vol. 13

2010.10.27.

特集：東北各県で総合防災訓練実施 !!

特集：航空救難団「秋田救難隊」

新東北防衛局長から

防衛白書発行

THE 50th ANNIVERSARY

広報館ウォッチング

インフォメーション



防衛省東北防衛局広報編集委員会編集発行

宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目3-15

TEL 022-297-8208

ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/tohoku/>

青森県 (五所川原市)



瓦礫下救助救出訓練



ヘリ着陸のため不整地用マットの設置

応急救護所設置・運営訓練



# 総合防災訓練実施!!

岩手県 (花巻市)



土砂災害被災車両負傷者救出訓練



空中消火訓練



災害時  
こころのケア訓練

宮城県 (栗原市)



除汚訓練



炊き出し訓練



災害対策本部設置運用訓練

倒壊建物等救助救出訓練



山形県 (新庄市)

ボランティア支援本部設置訓練



多重事故救助・救出訓練



# 特集：東北各県で

水難救助訓練



応急救護所設置訓練



倒壊家屋からの救出訓練

福島県 (相馬市)

## 平成22年度 東北各県総合防災訓練

日程・参加人員	開催地	訓練概要
8月29日(日) 約8,000人	岩手県花巻市 (北上川河川公園)	岩手県内陸南部を震源とする地震の発生(花巻市内震度6弱)を想定した災害対応訓練
9月1日(水) 約7,000人	宮城県栗原市 (サン・スポーツランド栗駒)	宮城県北部を震源とする地震の発生(栗原市震度6強)を想定した応急対策訓練
9月1日(水) 約1,100人	福島県相馬市 (相馬港1号埠頭)	自然災害(相馬市震度6弱)及びBC災害(生物剤と化学剤)を想定した対応訓練
9月4日(土) 約1,700人	青森県五所川原市 (五所川原市民体育館)	震災(五所川原市震度5強)及び国民保護(化学テロ)を想定した実動訓練及び図上訓練
9月5日(日) 約800人	山形県新庄市 (新庄駅前ふれあい広場アビエス)	新庄盆地断層帯を震源とする地震の発生(最上地方震度6強)を想定した応急対応訓練
10月18日(月) 約5,000人	秋田県大仙市 (大曲街区等)	大仙市東部を震源とする地震(大曲市街地震度6強)を想定した応急対応訓練

「防災の日」の9月1日前後に東北各県で総合防災訓練が行われました。訓練には、県、市町村、警察、消防、海上保安庁、陸・海・空自衛隊の各部隊と地域の住民などが参加し、各機関が連携して、地震などの災害の発生に備えて様々な訓練を行いました。

東北防衛局は、災害等発生時には主に地方自治体との連絡調整に当たることになりませんが、各県の訓練に職員を派遣し、現場での自衛隊と関係機関との連携要領等を研修しました。

また、当局においても9月7日、緊急事態などに対応するため、確かつ迅速に対応するため、宮城県沖地震が発生し、公共交通機関が利用できないとの想定の下、呼集連絡、安否確認、徒歩参集訓練などを実施しました。今回、職員などの安否確認を初めてメールにより実施したほか、職場から6km範囲内の職員約80名が徒歩参集訓練に参加しました。

今後、連絡不通の職員の把握などを改善し、訓練を行う予定です。

# 特集：航空救難団「秋田救難隊」

## 日本の救難活動における「最後の砦」



- 1 降下用ロープで海面に降りる救難員
- 2 要救助者を機内に引き上げ
- 3 細心の注意を払い救難活動を行う

秋田空港（秋田県秋田市）に隣接している航空自衛隊秋田救難隊（秋田分屯基地）は、事故航空機の搭乗員の捜索と救助、緊急空中輸送業務のほか、都道府県知事からの災害派遣要請を受け、民間航空事故への対応や、山岳及び海上における遭難者の捜索救助などの任務遂行のため、24時間常時救難待機（アラート）を実施しています。

救難隊が出動するのは、他機関のレスキュー（防災ヘリや消防、海上保安庁等）などが出動困難な場合や、出動したものの、天候や地形など現場の状況が非常に過酷で救出困難と判断された後になることから、救難活動における『最後の砦』と言われています。

秋田救難隊は昭和62年3月に新編された部隊で、隊員たちは、「That Others May Live ～他の人を生かすために、かけがえのない命を救うため～」をモットーに、厳しい状況下でも救助できるよう、日頃から本番さながらの訓練を重ね、365日昼夜問わず任務に励んでいます。



荒波の中、救難訓練を行う

# 日本最高のレスキュー部隊



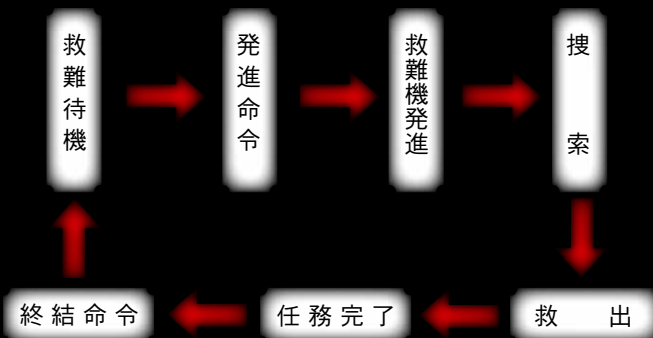
U-125A 捜索機

救難活動は、救難捜索機U-125Aが要救助者を捜索・発見して、その情報を後続の救難救助機UH-60Jパイロットに伝え、救助活動を行います。

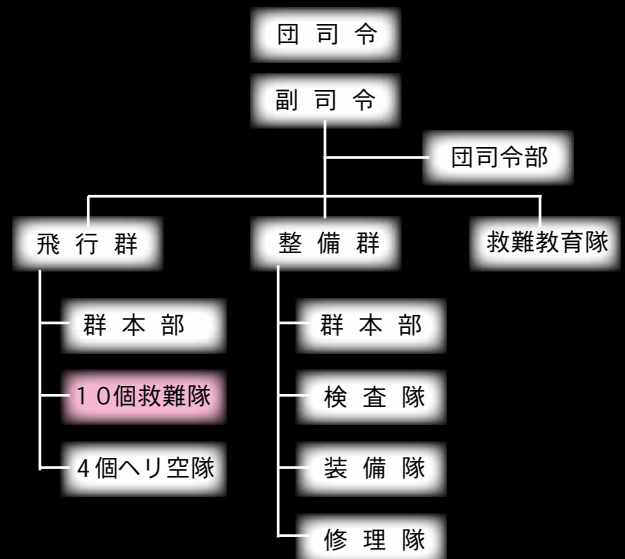


UH-60J 救助機

## 航空救難活動の概要



## 航空救難団の組織図



## 救難活動の実績

年度	件数	救助人員	主な内容
17	2	0	行方不明漁船員の捜索
18	3	2	漁船からの緊急患者空輸
19	1	1	フェリーからの急患空輸
20	3	5	宮城・岩手内陸地震
21	1	1	タンカーからの急患空輸

航空救難団司令部（入間基地：埼玉県狭山市）の隷下に全国10ヶ所に救難隊があり、東北管内には秋田救難隊と松島救難隊（宮城県東松島市）が所在しています。また全国4ヶ所（東北管内では三沢基地）にヘリコプター空輸隊が配備され、救援物資の輸送や大規模な避難民の移送等を行っています。

## 秋田分屯基地航空祭

秋田救難隊  
秋田気象班

9月23日（木）基地航空祭が開催され、訪れた航空ファンや家族連れが輸送ヘリコプター体験搭乗や救難ヘリコプター、捜索機飛行展示など各種イベントに歓声を上げていました。



## 新東北防衛局長から

### 平成22年9月1日付けで着任した増田義一 新局長からの挨拶

この度、東北防衛局長を拝命いたしました増田でございます。東北防衛局は東北6県における防衛行政の拠点でございますので、ここでしっかりとやってまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

さて、近年、防衛省・自衛隊の活動はますます広がりを見せています。

今年はハイチの大規模地震に関わるPKOに新たに参加したほか、ゴラン高原、ネパール、スーダンでは引き続きPKOに参加しております。さらにソマリア沖・アデン湾では海賊対処への取り組みを行っており、先般は、パキスタン・イスラム共和国において洪水被害に対する国際緊急援助活動を実施したといった具合に、その国際的な活動は発展の一途をたどっています。

また、本年は現行の日米安保条約締結から50年という節目の年ですが、日米両国の緊密な協力関係は、アジア太平洋地域における平和と安定のために不可欠なものであるところ、その協力関係は今やPKOや大規模災害対応などを通じて地球規模にまで広がっています。

こうした流れの中で、防衛省では3年前に組織改編が行われ、東北防衛局をはじめとした地方防衛局は、地方における防衛行政全般を担う拠点として新たに生まれ変わりました。もとより防衛省と地方との関係は、防災への対応、国民保護に関する取り組み、防衛施設の安定的使用などに関し、ますます重要性を増しているところです。これらを含め防衛省全体の事務を円滑かつ効果的に実施するため、地元への説明や調整といった様々な活動を通じ、地方公共団体や地域住民の皆様方のご理解とご協力を得たいと考えています。

どうかご支援のほどよろしくお願いいたします。

東北防衛局長

増田 義一（ますだ よしかず）

主な経歴

- 昭 .59.4 防衛庁入庁
- 平 .16.4 官房企画官（兼）運用局運用企画課
- 平 .17.8 長官官房政策評価監査官
- 平 .18.8 財務省関税局調査課長・監視課長
- 平 .20.8 経理装備局装備政策課長
- 平 .22.9 現職



## 防衛白書発行



防衛白書は、わが国防衛の基本について国民の理解を深めるため毎年刊行しているもので、平成22年版で36回目になります。

今年の特徴として、ソマリア沖・アデン湾、海賊対処、ハイチ国際平和協力業務など、防衛省・自衛隊の「ありのままの姿」をお伝えし、国民の皆様が国の防衛を考える際の資料となるよう、例年以上に図表や写真を掲載し、また防衛省内外の多くの方々の声をコラムで記述しています。

なお、22年版防衛白書の内容などについては防衛省のホームページに詳しく掲載されておりますのでどうぞご覧ください。

防衛省ホームページ <http://www.mod.go.jp/>



# THE 50th ANNIVERSARY

## 松島基地航空祭 ブルーインパルス50周年記念



ブルーインパルスが華麗な技を披露し、来場した約6万5千人の観客を魅了しました。  
8/22 (日)  
宮城県東松島市

## 三沢基地航空祭 日米安保締結50周年記念



小雨もぱらつくあいにくの天気でしたが、約11万人が来場し、展示飛行等を楽しんでいました。  
9/19(日)  
青森県三沢市

## 東北方面隊創隊50周年記念行事



模擬戦闘訓練や戦車体験搭乗などが行われ、約3万人の観客でにぎわいました。  
9/26(日)  
宮城県仙台市

## 広報館 ウォッチング

青森県むつ市にある海上自衛隊大湊地方隊の資料展示室「北洋館」は、専用の駐車場などを整備し、入門等手続きなしで見学できます。

展示室は、明治35年の旧海軍大湊水雷団開庁から現在までの、「北方の海上防衛」をテーマとした、貴重な史料約1000点を展示しています。

使用している建物は、1916年(大正5年)旧海軍士官の社交場として建設されたもので、昭和54年には日本建築学会から大正、昭和期の名建築に指定されています。



## 「北洋館」



入館料：無料

開館時間：9:00～16:00

休館日：12月29日～1月3日

(その他、訓練等で閉館している場合があります。)

問合せ先：〒035-8511

青森県むつ市大湊町4-1

大湊地方総監部管理部総務課広報係

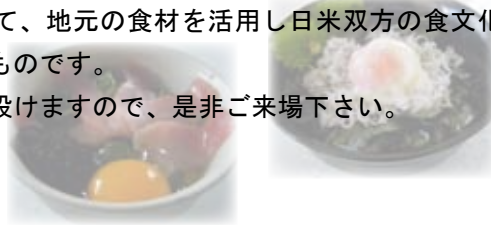
Tel 0175 (24) 1111 内線 2304

**- INFORMATION -****三沢どんぶりコンテスト ~日米交流フェスタ in MISAWA~**

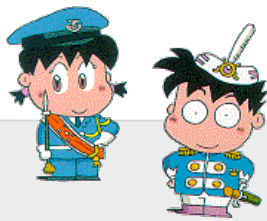
11月27日(土) 11時30分から青森県三沢市公会堂大ホールにおいて、三沢基地周辺住民と在日米軍人等との合同チームが作成した創作どんぶりのコンテストを開催します。

このイベントは、三沢基地周辺住民と在日米軍人等との交流を深め、お互いの理解を深化させていただくことを目的として、地元の食材を活用し日米双方の食文化をミックスした斬新などんぶりを発表していただくものです。

発表作品の試食コーナーも設けますので、是非ご来場下さい。



10月3日説明会を開催しました。

**東北の自衛隊広報行事**

自衛隊(東北管内)が今後予定している広報行事等は次のとおりです。是非、見に来てください。

	開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
11月	陸 11月 6日(土)	第6師団定期演奏会	山形県民会館	第6師団司令部広報室 0237-48-1151
	陸 11月 7日(日)	第9音楽隊コンサート	協和市民センター 和ピア	秋田地方協力本部 018-823-5404
	陸 11月13日(土)	大和駐屯地定期演奏会	まほろばホール	大和駐屯地広報班 022-345-2191
1月	陸 1月15日(土)	第37回霞目駐屯地新春たこ作り・たこ上げたい会	霞目駐屯地	霞目駐屯地広報室 022-286-3101
	陸 1月15日(土)	福島自衛隊音楽の夕べ	福島県文化センター	福島駐屯地広報室 024-593-1212
	陸 1月16日(日)	NEW YEAR コンサート2011	秋田県民会館	秋田地方協力本部 018-823-5404
	空 1月29日(土)	北部航空音楽隊演奏会	下北文化会館	航空自衛隊第42警戒群 0175-24-1191

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。

**編集後記****「普段からの心構え」**

今回は、今後30年の間に99%の確率で発生するといわれている宮城県沖地震やその他の災害に備え、危機管理の認識を持ってもらう意味も込めて、東北各県の総合防災訓練の一部を紹介することとしました。

万が一に備え、家族の連絡体制、役割分担など、今一度考えていただければと思います。

また、今夏の猛暑も終わり、これから冬将軍がやってきます。インフルエンザの流行も考えられますので、うがい、手洗いの励行など健康にも留意していただければと思います。

※ 表紙の写真は、岩手県西磐井郡平泉町の特別史跡、特別名勝に指定されている毛越寺(大泉が池)です。